

ボランティア活動の現場を訪ねて!

～ 生活介護事業(障がい者通所施設) 編 ～

厚別区社会福祉協議会では区内にある高齢者、障がい者、児童等様々な分野の福祉施設からご依頼を受け、ボランティア活動を希望する方へのご紹介(コーディネート)を行っています。はじめてボランティア活動を希望される方の中には「福祉施設が具体的にどんな所かわからなくて不安」という方が多数いらっしゃいます。実際に福祉施設ではどのようなボランティア活動が行われているのでしょうか。その疑問を解決すべく、今回は「生活介護事業(障がい者通所施設)」の紹介と、そこでのボランティア活動の様子をご紹介します。

生活介護事業(障がい者通所施設)とは

常に介護を必要とする方に対して、主に昼間において、入浴・排せつ・食事等の介護、生活等に関する相談助言、その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会を提供します。その他に、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行います。このサービスでは、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上を目的として、通所により様々なサービスを提供し、障がいのある方の社会参加と福祉の増進を支援します。(18歳～65歳までの障がいをもった方が対象)

はじめに、社会福祉法人 榎の会 生活介護事業おおぞら 主任の 駒井 義紀さんにお話を伺いました。



Q1. 「おおぞら」はどんな施設ですか?

ご自宅で生活されている障がいをもった方へ日中生活が充実出来るように各種(入浴・給食・送迎)など、ご本人に合わせた活動をすべてのスタッフが心がけ、提供しています。「おおぞら」では、重度の障がいをもった方が多く、コミュニケーション方法も多種多様です。ご本人の意思を適切に汲み取り、その方に合った伝達方法を活用し、スタッフはご本人のすてきな笑顔を観る為に、日々支援に取り組んでいます。

日中の活動として、特に夏場は外出機会を増やし、社会参加を目的に活動を展開しています。多くのご家族やボランティアの方々に支えられ、今の「おおぞら」があります。

Q2. どのようなボランティア活動が行われていますか?

日中活動(作業・レクリエーション)にて、主に利用者の話し相手や活動中の簡単なお手伝いをお願いしています。また、趣味を生かした裁縫などの作業活動にも取り組んでいます。その他、法人の秋まつりや「おおぞら」の季節の行事、外出時の車いす移動の際の介助などでも大変ご活躍頂いております。

Q3. 活動上のアドバイス、活動を始めたいと思っている方へのメッセージをお願いします。

「おおぞら」では利用者の意思を第一に、どんなに障がいが高くても“その人らしさ”を大切に支援・援助を行っております。「おおぞら」の利用者は、我々支援者を受け入れ、笑顔にしてくれる力を持った存在です。お互いに気持ちが通じ合い、共感できることの喜びは、支援・援助する側にも達成感をもたらしてくれます。ボランティアをして下さる方には、技術の上手・下手ではなく、相手への“思いやり”の気持ちを大切に頂ければと思います。

お電話でのお問い合わせや、見学だけでもお気軽にお声をかけて下さい。ご希望に合ったボランティア活動の形態をご提案いたします。



次に、「おおぞら」などで、ボランティア活動を18年間以上続けている、伊藤 敦子さんにお話を伺いました。

Q1. ボランティア活動を始めたきっかけは?

最初はボランティア活動をするのはあまり考えていませんでした。ウォーキングコースにあった、この施設の前を通るたびに何か気になり、いつかこの施設に携わるのではと思っていました。たまたま、社会福祉協議会の広報にボランティア活動募集していることを知り、説明を聞き見学させてもらい、お手伝いさせてもらう事となりました。

Q2. 現在どのようなボランティア活動をされていますか?

週に一度のボランティアです。利用者さんとの、とりとめのないお話しや活動と一緒に作業(ピース等)などを行っています。外出行事の時やサマーレクリエーション、秋まつり等イベントがある時なども声をかけてもらっていますが、楽しいことばかりです。

Q3. ボランティア活動を通して感じることは?

ひとりのベテランボランティアさんに言われたことがあります。「ボランティアは車いすを押ししたり、台所の片づけをしたりする事だけではない」と。ボランティアを始めたばかりの私には、その言葉は理解できませんでした。たかがボランティアされどボランティア、この様な事をおっしゃったのでしょうか。今は深く考えない様になっています。元気で楽しんでいると感動をしたり充実した日があったり、心と体に力を入れない様に、18年間続けてきました。

Q4. これからボランティアを始めたいと思っている方々へ。

ボランティア活動には色々な分野があります。趣味とか自分の関心あるものをきっかけに始めてみてはどうでしょうか。ボランティア活動はとても貴重な経験です。たくさんの方と出会い、知り合いになれるということは、大切な宝物になります。

今回取材させていただいた施設は…



社会福祉法人 榎の会
生活介護事業 おおぞら

〒004-0007 厚別区厚別町下野幌49番地
TEL:011-898-3929
E-mail:oozora@nire.or.jp



また、その他にも社会福祉協議会では、各種ボランティアを募集しております。興味のある方はぜひ一度ご連絡ください。ご希望に合ったボランティア活動をご紹介しますことができます。

お問い合わせ先 厚別区社会福祉協議会 TEL895-2483



介護付有料老人ホーム
「遊楽館」青葉

お気軽にご相談ください
0120-208-750
http://www.yurakukan.jp

体験
入居
受付中

